

## 令和4年度第2回運営推進会議 グループホーム暖らん 記録

開催日時：令和4年9月30日（金曜）15時20分～15時50分（ZOOMによるオンライン会議）

出席者：民生児童委員、高齢者あんしん支援センター、星隆会理事長、暖らん管理者、きいちご倶楽部管理者

### 1. 管理者から下記の通り利用状況（9月29日現在）について説明した

(ア) 現入居者 8名

#### ① 年齢別

	男	女
80歳代	0	3
90歳代	1	4

#### ② 要介護度別

	男	女
要介護1	0	1
要介護2	1	3
要介護3	0	3
要介護4	0	0

(イ) 続いて次のように報告した。

- 8月中頃に入院されたご利用者が、8月末で契約の解除となった。
- おひとり入院されている。下記の、転倒事故が元となった。
- 定員に対して一人欠員となっており、現在、待機者の中から選考中である。

### 2. 7月から9月にかけての行事、活動など「暖らん便り」no.18により報告した。

### 3. 9月に起きた事故の報告を行った

(ア) 9月21日転倒による骨折事故が起き、ご利用者は県立中央病院に入院した。出雲市には第一報を報告した。先日手術が行われご家族によれば経過は良好で一般病棟に移ったとのこと。また暖らんに戻られる予定である。

(イ) 職員の思い込みにより見守りを怠った間に転倒が発生したと考えられ、職員間で発生の原因について話し合い、再発の防止に努める。

### 4. その他

(ア) 9月中頃にトリニティ福祉専門学校の学生が4日間の介護実習を行った。10月には出雲医療福祉専門学校の学生の2日間の実習が予定されている。

(イ) 4年度の外部評価は、評価機関に委託して行いたい。昨年度まで委託していた出雲市内の評価機関が評価事業を中止したため、松江にある別の事業所に委託することとした。

\* \* \*

以上の報告について以下のような質疑応答があった。

<質問>事故の報告の中に「思い込みにより」とあるが、どのような思い込みか。

回答：そのご利用者が長期の入院後に戻ってこられ、歩行が難しく車椅子で移動されていた。トイレ案内を行い便座に座っていただいたのだが、それまでのトイレでの様子から、座ったままで立とうとすることはないだろうとの思い込みで、陰部洗浄の用具を揃えるためにその場を離れてしまった。直後に立とうとされて、そのまま転倒されたと推測された。

<質問>ご家族は事故の後どのような言われているか

回答：キーパーソンの長女様に報告や謝罪を行った。当然、残念に思っておられると思うが、医師の説明に同席をした際、「若い職員さん、一生懸命だから、あまり気にしないように言ってください」と言ってくださった。その後のご連絡などにおいても特に変わった態度や言葉はない状況である。

<暖らんから>

出席者からのご要望もあり、運営推進会議の開催案内をもっと早い時期に行うようにしたい。コロナ感染の状況から対面での開催も増えているとのことであり、次回は対面での開催も検討したい。

以 上